

日本農業研究所講演会
地域に密着した青森県の大規模
水田経営の展開

講師 境 谷 博 顯 氏
(有) 豊心ファーム代表)

[平成 23 年 2 月 28 日]

平成 23 年 5 月

財団法人 日本農業研究所

講演会記録

- No. 1 戦後農業の画期と新しい農業の担い手—歴史家の眼でみた—
(講師 古島敏雄 氏) 昭和 62 年 2 月、B5、28 頁。
- No. 2 わたしの農業観 (講師 山下惣一氏) 昭和 62 年 1 月、B5、35 頁。
- No. 3 技術革新と日本農業 (講師 川嶋良一氏) 昭和 62 年 3 月、B5、28 頁。
- No. 4 「21 世紀へ向けての農政の基本方向」について (講師 内村良英氏)
昭和 62 年 5 月、B5、34 頁。
- No. 5 物質循環と地力問題 (講師 熊沢喜久雄氏) 昭和 62 年 12 月、B5、40 頁。
- No. 6 農法の理念 (講師 加用信文氏) 昭和 63 年 5 月、B5、37 頁。
- No. 7 このごろの森林問題について (講師 高木文雄氏) 昭和 63 年 5 月、B5、34 頁。
- No. 8 地域農業の可能性—自立と共生をめざして— (講師 星 寛治氏)
昭和 63 年 6 月、B5、45 頁。
- No. 9 米と牛肉の自由化の影響について (講師 大賀圭治氏)
昭和 63 年 10 月、B5、43 頁。
- No. 10 食品工業から見たわが国農業の展望 (講師 久保真吉氏)
平成元年 2 月、B5、54 頁。
- No. 11 わが家の農業 (講師 竹本敏晴氏) 平成元年 2 月、B5、35 頁。
- No. 12 農業をめぐる国際情勢 (講師 真木秀郎氏) 平成元年 6 月、B5、33 頁。
- No. 13 最近の中国農政改革の動向について (講師 劉 志仁氏)
平成元年 5 月、B5、53 頁。
- No. 14 今後の農政の方向について (講師 真鍋武紀氏) 平成元年 10 月、B5、30 頁。
- No. 15 牛肉の輸入自由化と肉牛経営の対応方向 (講師 栗原幸一氏)
平成 2 年 5 月、B5、40 頁。
- No. 16 ペレストロイカと農業 (講師 金田辰夫氏) 平成 2 年 12 月、B5、38 頁。
- No. 17 人民公社はどうなったか—最近の中国農業をめぐる—
(講師 劉 志仁氏) 平成 3 年 1 月、B5、30 頁。
- No. 18 土と古代文化—日本文化のルーツを求めて— (講師 藤原彰夫氏)
平成 3 年 9 月、B5、50 頁。
- No. 19 サステイナブル・アグリカルチャーについて—国際農業研究センターにおける最近の研究動向— (講師 林 健一氏) 平成 4 年 3 月、B5、30 頁。
- No. 20 新しい食料・農業・農村政策の方向について (講師 入澤 肇氏)
平成 4 年 12 月、B5、30 頁。
- No. 21 わが家の農業経営 (講師 国定正俊氏) 平成 5 年 8 月、B5、35 頁。
- No. 22 イギリスにおける農業保護の歴史的経験 (講師 森 建資氏)
平成 6 年 3 月、B5、28 頁

- No. 23 私の有機農業経営— 23年の実践から— (講師 金子美登氏)
平成6年6月、B5、29頁。
- No. 24 環境保全型農業をめぐって (講師 熊澤喜久雄氏) 平成6年11月、B5、41頁。
- No. 25 G A T Tウルグアイ・ラウンド農業合意後のわが国農政 (講師 山本 徹氏)
平成7年3月、B5、41頁。
- No. 26 最近の農政と農家の本音について (講師 佐藤藤三郎氏)
平成7年9月、B5、25頁。
- No. 27 新規就農7年の体験から (講師 岡路 真氏) 平成8年3月、B5、40頁。
- No. 28 ブラジルの農業と私の牧場開拓と経営 (講師 小野田寛郎氏)
平成8年6月、B5、34頁
- No. 29 米国1996年農業法の内容と国際的影響 (講師 服部信司氏)
平成8年8月、B5、37頁
- No. 30 農業基本法の回顧と展望 (講師 荏開津典生氏) 平成8年11月、B5、40頁。
- No. 31 私の農業と地域とのかかわり (講師 荻原勝巳氏) 平成9年3月、B5、42頁。
- No. 32 財界からみた農業・農政観 (講師 小島正興氏) 平成9年9月、B5、37頁。
- No. 33 農村の健康問題について (講師 若月俊一氏) 平成10年2月、B5、31頁。
- No. 34 技術の進歩で世界の食料生産をどこまで増やせるか (講師 三輪睿太郎氏)
平成10年6月、B5、42頁。
- No. 35 O E C Dにおける農業と環境の論議 (講師 西郷正道氏)
平成10年10月、B5、46頁。
- No. 36 食料・農業・農村基本問題調査会答申をめぐって (講師 中村靖彦氏)
平成10年12月、B5、25頁。
- No. 37 中国農業とその周辺の一般情勢 (講師 松浦龍雄氏)
平成11年6月、B5、42頁。
- No. 38 世界の食糧生産とバイオテクノロジー (講師 貝沼圭二氏)
平成12年2月、B5、38頁。
- No. 39 農政改革と農林水産省組織改革 (講師 高木勇樹氏)
平成12年5月、B5、40頁。
- No. 40 農村の今を考える (講師 役重真喜子氏)
平成12年9月、B5、33頁。
- No. 41 農協の今後のあり方 (講師 岸 康彦氏)
平成13年1月、B5、41頁。
- No. 42 中国農業と農政の現状及び新世紀の政策的課題 (講師 劉 志仁氏)
平成13年3月、B5、40頁。
- No. 43 中山間地域等直接支払制度の到達点と課題 (講師 小田切徳美氏)
平成13年10月、B5、52頁。

- No. 44 動物バイオテクノロジーの現状と課題（講師 安江 博氏）
平成 14 年 2 月、B5、37 頁。
- No. 45 ぶった農産の発展の軌跡と今後の取組み（講師 佛田利弘氏）
平成 14 年 6 月、B5、40 頁。
- No. 46 イネゲノム解析とその利用（講師 畑中孝晴氏）
平成 14 年 9 月、B5、44 頁。
- No. 47 ゼロから築いた私の農園（講師 木之内 均氏）
平成 15 年 1 月、B5、49 頁。
- No. 48 米政策改革の課題と展望（講師 佐伯尚美氏）
平成 15 年 7 月、B5、36 頁。
- No. 49 なぜ今、食品安全か（講師 梅津準士氏）、平成 15 年 9 月、B5、41 頁。
- No. 50 WTO、F T A と日本農業（講師 服部信司氏）
平成 16 年 4 月、B5、37 頁。
- No. 51 水田農業の改革と集落営農（講師 井上芳男氏）
平成 17 年 2 月、B5、37 頁。
- No. 52 地域型農業法人をめぐる経営環境の変化と今後の方向（講師 丸山秀子氏）
平成 17 年 10 月、B5、37 頁。
- No. 53 耕畜連携による飼料稲を基軸とした循環型農業の推進（講師 鎌谷一也氏）
平成 18 年 3 月、B5、39 頁。
- No. 54 大規模稲作農家と共存した集落型法人の育成について（講師 仲延旨氏）
平成 19 年 2 月、B5、61 頁。
- No. 55 (株)アグリパートナーの仕組みと集落営農（講師 井部辰男・古川敏雄氏）
平成 19 年 4 月、B5、44 頁。
- No. 56 集落営農および担い手対策に対する J A グループの取り組みについて
（講師 馬場利彦氏）、平成 19 年 4 月、B5、51 頁
- No. 57 未来ある農業経営を目指して—主婦が夕食に用いる牛肉の生産とブランド化
（講師 小林輝男氏）、平成 19 年 12 月、B5、32 頁
- No. 58 (農)伊賀の里モクモク手づくりファームの軌跡と展望
（講師 木村 修氏）、平成 20 年 2 月、B5、44 頁
- No. 59 飼料用米を用いた養豚—平田牧場と J A 庄内みどりの連携—
（講師 新田嘉七・佐藤秀彰氏）、平成 21 年 1 月、B5、47 頁
- No. 60 米政策改革見直し、この 1 年—逆走する米政策—
（講師 佐伯尚美氏）、平成 21 年 3 月、B5、41 頁
- No. 61 大規模稲作農業法人の現状と課題、そしてこれから
（講師 忠 聡氏）、平成 21 年 10 月、B5、39 頁

- No. 62 生産調整・経営所得安定対策の在り方について現場の見方
(講師 下島芳幸氏)、平成 22 年 1 月、B5、64 頁
- No. 63 2010 年世界農林業センサスとその結果について
(講師 矢野哲男氏)、平成 23 年 2 月、B5、43 頁
- No. 64 地域に密着した青森県の大規模水田経営の展開
(講師 境谷博顯氏)、平成 23 年 5 月、B5、33 頁

平成23年 2月28日開催 境谷博顯氏講演会

平成23年 5月 印刷
平成23年 5月 発行

編集・発行 財団法人 日本農業研究所
本 部 東京都千代田区紀尾井町3番29号
電話 03-3262-6351 〒102-0094
FAX 03-3262-6355

実験農場 茨城県つくば市稲荷原2-1
電話 0298-76-0111 〒300-1259
FAX 0298-76-0945

印刷・製本／共立速記印刷(株)